（様式１）

学校番号	37	学校名	県立麻生高等学校

令和8年度道徳教育全体計画

諸法規

・日本国憲法
・教育基本法
・教育諸法規

校訓

至誠勤勉　自治剛健　和衷協同

学校の教育目標

Ⅰ　ICT教育を積極的に推進し、学習指導の充実に努め、生徒一人ひとりの確かな学力を育む。
Ⅱ　キャリア教育の推進と情報モラル教育の充実を図り、時代の変化に対応できる能力を育成する。
Ⅲ　健康と安全に留意し、強健な体と不屈の精神を育てるとともに豊かな人間性を培う。
Ⅳ　地域とともにある学校として、行政や小・中学校と連携し、特色ある学校づくりを推進する。
Ⅴ　学校教育活動全体の業務を精査し、教職員自らが適正な時間内で働くことのできる環境作りに努める。

生徒の実態

・素朴で何事にも素直に取り組む性質を持っている。
・時として、コミュニケーションのつまずきで人間関係に悩む生徒が出ている。
・やや積極性に欠ける生徒がいる。

保護者の願い

・地域にある唯一 の普通高校であり歴史ある学校のため、本校卒業生や本校に誇りを持つ保護者が多く、規律ある生活態度や進路実現に対する期待が大きい。

道徳教育重点目標

・人間としての在り方生き方の自覚を促し、その礎となる道徳性を養う
・基本的生活習慣を確立し、節度を守り節制に心がけ、心身ともに調和のとれた生活の実現に努める。
・他の人々の立場を尊重し、感謝と思いやりの心をもって人と接する態度を養う。
・生命の尊さを深く理解し、かけがえのない自他の生命を尊重する精神を培う。
・勤労の意義を理解し、勤労の尊さを重んじる生き方をもとに、奉仕の精神をもって、公共の福祉と社会の発展に寄与する態度を養う。

地域の実態

・近くに鹿島臨海工業地帯があるが、古くからの農村地帯で少子高齢化が進んでいる。

各教科・科目

国語	さまざまな文章を読み、話すことや書くことを通して生き方についての考えを深めながら心情を豊かにし、より良い人間形成を図る。
地歴	過去の歴史を学ぶことによって、人間の在り方や生き方についての考察を深めさせる。
数学	指導要領に掲げる目標達成を目指しながら、問題解決を通して忍耐力、判断力の育成に努める。
理科	観察実験などを通して、科学的に探求する能力と態度を育て、科学や自然と人間の関わりの視点に立ち、自然を総合的に見る見方や科学的なものの見方を育成する。
保体	健康や安全などの知識やさまざまな運動の実践を通して、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育てるとともに、常に体力向上を図り、明るく心豊かな生活を送ろうとする態度を育てる。
芸術	芸術の幅広い活動を通して、将来にわたって芸術を愛する心情を育てるとともに、豊かな情操を養い道徳性の基盤を培う。
外国語	言語や文化への関心を深めることにより、異文化を理解し尊重する態度や積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。
家庭	家族や家庭、社会の意義を考え理解すると共に、生活に必要な知識と技術の習得を通じて、男女が協力する実践的な態度を育てる。
情報	情報及び情報技術を活用するための知識と技能の修得を通じて、モラルやマナー、情報化社会におけるものの見方や考え方を養う。
総合的な探究の時間	郷土愛を高め地域の魅力を発見するとともに、学びに向かう力や人間性等、郷土を愛し、発展に貢献して行こうとする姿勢を養う。
専門	

特別活動

ホームルーム活動

・ロングホームルームで「道徳プラス」を実施し、道徳的判断力や道徳的実践意欲と態度を育てる。
・豊かな心の育成に向けた社会人講話や指導を行う。
・性教育講話などを通し自他を愛する態度を育成する。

公民科

公共

・社会的な見方、考え方を働かせ現代社会の現状と課題を理解し、社会の一員としての役割を自覚する態度を涵養する。

生徒指導

・服装指導、遅刻指導、礼儀指導等を通じて、規範意識や社会性を育成する。人間としてのあり方や生き方についての自覚を促し、他者への思いやりや倫理観、正義感を養う。

家庭との連携

・学校だよりやホームページ、SNSなどの広報活動や保護者会、講演会等を通じて、学校の道徳教育の意義とねらいや生徒の実態について保護者の理解を深め、道徳教育の進化を目指して啓発活動を推進していく。

地域社会との連携

・地域でのさまざまなボランティア活動に積極的に参加するよう支援し、人と人との関わりの中で人間として生きるとはどういうことかを考える機会を作る。自分が大切な存在であること、社会の一員であることを実感するよう地域との連携を深める。その中で思いやりの心や規範意識、責任感、社会性などを養っていく。